

直接面接調査における質問項目（案）

1. 直接面接調査における質問項目

委員会における指摘事項、事前面接調査の調査結果より、直接面接調査の質問事項を以下のように分類し、関係する自治体、集落代表、住民団体、事業者等に対する現地調査、聞き取り調査を実施する。

質問項目としてはすべての自治体・集落代表に対して行う 共通質問項目 と自治体の取組状況に応じて聞く 自治体別個別質問項目 に分けて実施する。

表 1 直接面接調査における質問項目

質問項目	面接調査の方向性（案）
自治体・集落に対しての共通質問項目 1. 小規模・高齢化集落の現状と課題の確認 2. 地域の資源・産業・生活サービス・地域コミュニティの実態について	集落の歴史的経緯や産業変遷等社会的状況の変化の中、集落人口の人口減少・高齢化がどのように進んだのかを把握する。 集落の人口減少・高齢化が進むことで、生活サービス、国土保全、地域産業・経済等どのように影響しているのか把握する。 祭事や伝統文化の継承(教育)が、地縁型コミュニティに対してどのように影響するのか把握する。(共同作業が円滑化あるいは帰省する人が増えたなど)
自治体や住民団体の新たな取組に応じた個別質問項目 3. 新たな取組に関する背景と取組内容、実施効果について(新たな取組の掘り下げ・担い手の実態等) 4. 社会実験企画立案に向けた参画意向、アイデア、課題、ニーズ等について(社会実験企画)	集落の存続・再生に係わる新たな取組について調査を行い、制度導入にあたっての背景、取組、効果を把握する上で、他地域への波及の可能性について検討する。 自治体・NPO アンケートから、それぞれが提案している社会実験にむけてのアイデアを把握する。

2. 自治体・集落に対しての共通質問項目

共通質問項目は集落及び自治体の現状及び課題を把握するため、集落に居住する生活者の視点に基づき聞き取り調査を実施する。

表2 直接面接調査における対象集落・自治体への聞き取り調査項目

項目【対象】	内容	詳細質問項目
<p>1. 小規模・高齢化集落の現状と課題の確認</p> <p>【対象者】 小規模・高齢化集落の代表・住民 (自治体からも補足調査)</p>	<p>小規模・高齢化集落としてあげられた地区の実態</p> <p>ゴミ等の不法投棄の実態について</p> <p>直接支払制度あるいはそれに類した支援制度の実施状況とその効果</p> <p>集落の森林・田畑等の管理実態についての現況・課題</p> <p>祭事の実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落の歴史的経緯やこれまでの変遷 ・ 集落人口の変遷や現在の居住者の状況（人口・世帯数や高齢化、人口流出・流入（UIJ ターン）、世帯の状況（2・3世代同居、独居・高齢者単身世帯）） ・ <u>転出者の帰省の状況、地域外居住者との連絡の取り方、地区とのつながり。</u> ・ 集落の維持に関する取組（集落施設の維持管理（集会所・コミュニティ施設がある・ない）、寄り合いの回数や出席者の属性、共有地の管理実態、<u>空き家への対策</u>、災害・鳥獣被害の状況） ・ <u>移動の手段(バス・知り合いに頼む)</u> ・ 医療、福祉、買い物等の生活サービスの実態 ・ 不法投棄の種別（生活家電、産業廃棄物）、不在地主 ・ <u>集落協定の有無、内容、支払いは個人・集落、使用用途</u> ・ <u>不在地主化、管理の担い手、取組等</u> ・ <u>特徴的な祭事、運営の方法（支援・人材）地縁型コミュニティに与える影響、帰省との結びつき</u> ・ <u>地域づくり（伝統文化継承等）への子供達の参加の状況</u>

項目【対象】	内容	詳細質問項目
<p>2. 地域の資源・産業・生活サービス・地域コミュニティの実態について(地域資源等の実態・今後の可能性)</p> <p>【対象者】 自治体、<u>地域の産業団体、住民団体、</u> NPO 等</p>	<p>生活サービス機能に関する実態と取組</p> <p>市町村合併に伴う影響</p> <p>行政と集落との関わりや実態把握の方法</p> <p>集落存続・再生に向けた取組の状況と効果</p> <p>集落毎のイベント・祭事の実態と行政支援策</p> <p>森林の管理実態についての現況・課題</p> <p>集落の存続・再生に向けた取組を実施する組織・人材</p> <p>その他基礎データ票の空欄部分への追加調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院・福祉の状況(高次医療施設までの距離、診療科目、福祉施設・サービスの実態) ・生活拠点の状況(生活拠点の規模、スーパー・雑貨・金融機関等立地状況、アクセスの方法) ・<u>ブロードバンド等通信施設等の整備・活用状況(接続速度、ICT関連の人材、ネット販売等)</u> ・高等学校の進学状況、その後の進学、就職傾向について(故郷との結びつきについて) ・公共交通機関の実態(費用負担、制度、課題について) ・雇用の減少、住民意見の行政への反映低下、行政サービスの低下 ・末端行政(生活圏)を行う上での単位 ・集会所の整備単位 ・施策の展開(上位計画の地区区分) ・<u>地域の統計データを把握する上で</u> <u>の地区単位(商業、工業、農業、交流人口等)</u> ・行政支援策の効果、効果阻害要因、効果を上げるためのアイデア ・実施状況、参加者動向、行政支援の<u>有無、祭りが地縁型コミュニティへ与える影響：帰省等</u> ・不在地主化、管理の担い手の状況、取組等 ・組織の形態、構成員の属性、組織間の連携、運営の方法

赤字：委員会指摘により、聞取調査項目へ追加したもの

青字：事前面接調査の実施により、得られた聞取調査項目へ追加したもの

3. 自治体や住民団体の取組に応じた個別質問項目

現在実施している先駆的取組とそれを担う組織・人材から、取組の内容や課題・展開について聞き取り調査を行い、社会実験の方向性を考える上での参考にする。

表3 直接面接調査における対象集落への質問調査項目

項目	内容	詳細質問項目
<p>3. 新たな取組 に関する背景と取組内容、実施効果について（新たな取組の掘り下げ・担い手の実態等）</p> <p>【対象者】 取組の担い手に対する聞き取り調査</p>	<p>新たな取組を実施した背景</p> <p>新たな取組の実施状況</p> <p>新たな取組の効果とその要因</p> <p>制度創設にともない新たに発生した課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きっかけとなった集落等の問題・課題 ・制度導入のプロセス、担い手の実態
<p>4. 社会実験企画立案に向けた参画意向、アイデア、課題、ニーズ等について（社会実験企画）</p> <p>【対象者】 自治体・団体に対する聞き取り調査</p>	<p>社会実験として取り組みたい施策</p> <p>取り組みを担う組織・人材</p> <p>取り組みたい理由と想定される課題</p> <p>実施後の評価方法や目標像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分野：交通、情報、医療・福祉、国土保全、環境、観光、伝統文化、農林漁業等 ・外部からの支援を含む

【新たな取組に対する自治体別に個別で聞く項目例】

- 「地区コミュニティ協議会による集落の再編成」(薩摩川内市)
 - 「中山間地におけるワーキングホリデー制度による都市・農村交流」(西米良村)
 - 「UIJ ターン定住希望者への職住斡旋による定住促進」(小国町)
- 個別質問項目は対象地が決まり次第、アンケート、統計あるいは事前情報収集により選定する。